



川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和5年10月31日
富田林市立川西小学校
TEL 24-3107
FAX 26-2306

★児童数配布

『 川西小学校130歳 』 校長 山下 文博

今年も正門を入れてすぐの木陰に、真っ赤な彼岸花が咲きました。また、オレンジ色の可愛い花をつけた金木犀の香が校内に流れています。もうすっかり秋の装いになりました。

錦織神社の秋の例大祭も終わり、続けざまに、本校も運動会を迎えました。少しずつ涼しくなってきたとはいえ、まだまだ暑い中、一生懸命練習した成果をご覧くださいただけたのではないのでしょうか。

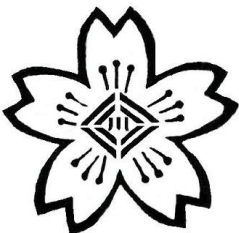
児童会が中心となり決定した今年度のスローガン、

『勝ち負けにこだわらず 最後まで突っ走れ～いつでも全員が主役～』

本当に最初から最後まで全員が主役を担ってくれました。今年度は久しぶりに人数制限を設けず、ご来賓の皆様もお迎えしての開催となりました。私の予想以上に多くの皆様にご観覧頂き、皆様方の子どもたちへの想い、そして学校に対する期待をひしひしと感じました。

さて明日、11月1日はこの川西小学校の130回目の創立記念日になります。正確には、明治26年4月に、「甘山村立岬尋常小学校」として開校されました。

「甲田、甘山、新家村の人々が仲良くくらせるように」という願いを込めて、甲田の「甲」と甘山の「山」をあわせて「岬」の文字を付け、学校を新家村に置いたそうです。それから8年経った明治34年11月1日、児童数が増加したため、現在の場所に新築移転されたそうです。それに伴い、本校の創立記念日を11月1日としたそうです。その後、「川西尋常小学校」、「川西尋常高等小学校」、「川西国民学校」を経て、「川西小学校」になりました。その過程で本校の校章も作られたと思われます。校章には昔から日本を象徴する花として親しまれてきた桜が使われています。そして、そのいわれはわかりませんが、「川西」の「川」を真ん中にして、「二(に)」を4個(四→し)まわりに配して「にし」と呼ばせ、「川西(かわにし)」を表したものと思われます。



このように歴史ある川西小学校です。これからも保護者の皆様をはじめ、地域の皆様方の期待に応えられるよう、教職員一丸となって日々の教育活動に邁進してまいりますので、引き続きご支援、ご協力の程よろしく願いいたします。